

国連アジア極東犯罪防止研修所 平成30年度第1回保護司国際研修に参加して

甲府保護区保護司会 近藤 功

1 はじめに

国連アジア極東犯罪防止研修所（以下「アジ研」という。）では、世界中の刑事司法実務家を対象とする国際研修・セミナーが行われており、平成29年10月に府中市から昭島市もくせいの杜所在の国際法務総合センター内へ移転しました。

平成30年9月3日及び4日の2日間にわたり、平成30年度第1回保護司国際研修が開催されました。その目的は、アジアを中心とする諸外国における犯罪者処遇に関する諸問題について保護司に研修させるとともに、アジ研で実施されている第170回国際研修（8月22日～9月21日）の参加者に対し、保護司との対話等を通じて日本の保護司制度及び保護司の活動等について紹介する、というものでした。今回の研修に参加したのは、旭川、東京、甲府、京都、長崎の各保護観察所管内の保護司5名でした。

2 平成30年度第1回保護司国際研修の概要

初日は、午後1時に所長室を訪ねて瀬戸所長から挨拶の言葉を賜った後、アジ研教官によるオリエンテーションが行われ、午後1時40分から国際研修の会場（国際会議場A）で海外客員専門家の講義を聴講しました。午後4時30分から国際研修参加者との意見交換会が行われた後、研修参加者や教官らと夕食を共にし、歓談しました。

翌日は午前中、再び国際研修に参加した後、所長室にて修了式が行われ、修了証書を授与されました。所長・担当教官と昼食をいただきながら歓談した後、保護司アジ研協力会の会員から会の説明を受け、午後2時頃退所しました。

3 第170回国際研修参加者との意見交換会の概要

まず、担当教官から保護司制度等について英語で説明がなされた後、各保護司が順次、発表を行いました。事前に提出した「事例紹介」及び「活動紹介」は英文に翻訳

されて国際研修参加者に配布されており、各保護司はそれに基づいて発表しました。

【発表の概要】（発表順）

①佐世保地区保護司会 和田 かおる 保護司

薬物事犯者の処遇の事例を発表。

②渋谷区保護司会 鈴木 哲司 保護司

医療系大学と連携した薬物犯罪の予防活動について発表。

③甲府保護区保護司会 近藤 功 保護司

サポートセンターにおける活動と社会を明るくする運動「住民集会」の内容について発表。

④旭川地区保護司会 山下 敦規 保護司

担当する薬物事犯者の処遇2事例とサポートセンターで実施している先駆的事业について発表。

⑤左京区保護司会 上野 修 保護司

上野保護司が中心になって保護司会で制作した薬物再犯防止啓発ビデオ「薬物依存症は病気です」について発表。

4 まとめ

第170回国際研修参加者との意見交換会は、まさに国際会議と思しき国際色豊かな立派な会場で発表を行わせていただき、貴重な機会を得ることができました。また、国際研修参加者や教官らアジ研職員と保護司が入り混じって歓談する場もあり、大変有意義な研修でありました。

国際研修参加者の中には、更生保護サポートセンターの活動内容や保護司のボランティア活動に興味をもっていた方が少なくありませんでした。また、歓談する中で、折り紙で「ツル」「兜」「飛行機」などを作り、和やかな雰囲気の中で、日本の文化を紹介し、互いの友好も深め合いました。

今回の研修を通じて、地域で安全・安心な社会の実現に向け大きく貢献している日本の保護司制度の良さが世界に広まることを願っています。